

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

<色別表示の見方>
 ■: 目標の推移が「順調」
 ■: 目標の推移が「概ね順調」
 ■: 目標への進行状況が「やや遅れている」
 ■: 目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
1			貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	目安値	8,864	9,023	9,182	9,341	本目標の対象施設となっていない市民創縁センターの完成により使用できる施設が増えたため、利用者は前年と比較し減少となった。しかしながら、芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用など、貸し館利用のニーズは高いことから目標値は達成しており、計画最終年度の達成も見込まれる。 (対象施設：生涯学習センター、コスモホール、交流文化館浅科)	利用しやすい施設とするため、コスモホールの施設修繕を進めるとともに、文化事業を実施する者への補助制度(芸術文化活動事業補助金)を継続する。	達成見込み	既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と、適切な維持管理を図ります。	
							実績値	9,889	10,916	11,801	11,100					
							評価	順調	順調	順調	順調					
2	111	文化・芸術	観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	目安値	39,075	39,306	39,538	39,769	旧中込学校は、平成26年度の全期間と平成27年度の4か月間、改修工事のため休館しており、大きな減少要因となった。また、他の施設に関しては、展覧会等の企画の充実に取り組んだ結果、若干の増加となっている。特殊要因はあったものの全体では目標を大きく下回っており、計画最終年度の達成は難しいと見込まれる。	展示・展覧会の企画を充実させるとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入館者の増加に取り組む。	達成見込み	利用者の増加に向け、魅力ある展示や、講座などの開催を推進します	
							実績値	35,802	35,802	27,040	35,467					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	目安値	70	72	75	77	考古学教室参加者へアンケートを実施し、参加者ニーズを踏まえた教室(勾玉づくり)を開催したところ大幅な増加となった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	文化財への関心を高めるため、学校への出土品の貸出を行うなど、埋蔵文化財に触れる機会の拡充を図るとともに、引き続きアンケートを実施することにより、参加者のニーズに合った考古学教室の開催に努める。	達成見込み	市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、小中学校への出土品の貸出しや各種講座の開催など、文化財に触れる機会の拡充を図ります。	
							実績値	78	87	31	81					
							評価	順調	順調	遅れている	順調					

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
4	112	地域間交流・国際交流	国際交流フェスティバル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	評価	2,940	3,080	3,220	3,360	ポスターやチラシにQRコードを入れるなど周知方法にも工夫をしたが、駐車場の確保等の課題もあり、来場者数は目標値を下回った。駐車場の確保や周知により、計画最終年度の目標の達成を目指す。達成は難しいと見込まれる。	広報の仕方は、QRコードで情報を広げると共に、メディア等も利用しながら、各活動団体からの周知も行う。また、会場周辺を含め、参加しやすい環境を整え、魅力的な内容を精査し、参加者の増加を図る。		国際交流フェスティバルなどのイベントを開催し、相互理解を促進します	
			国際交流サロン延べ参加者数	人/年	319 [H22]	400	評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					遅れている
6	112	地域間交流・国際交流	空き家バンク掲載物件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	評価	41	43	46	48	事業提携している宅建協会が独自に移住セミナーを開催するなど、協力体制が強化されたことや、移住交流相談員を2名体制とし、土日の対応を行ったことにより、目標を大幅に伸ばすことができた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	利活用可能な空き家の掘り起こしによる、空き家バンクの充実を図るとともに、希望者のニーズに合った定住促進に努める。	達成見込み	定住人口の増加のため、空き家バンク事業の充実を図り、希望者のニーズに合った定住促進に努めます。	
						実績値	47	59	45	75	順調					概ね順調
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	評価	8,184	8,263	8,342	8,421	区や学校・保育園等に対して、学習会や講座について積極的な呼びかけを行ったことで、参加者の増加に結びついた。また、人権・男女共生フェスティバル時に著名な講師を招くことができたことにより、参加者増加につながった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	人権を尊重する明るいまちづくりを推進するため、市民、学校、行政などが一体となり、人権講座、学習会を開催することで、人権意識の高揚を図る。	達成見込み	・市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権同和教育講座、イベントなどあらゆる場での啓発を推進します。 ・関係機関と連携を図り、家庭、地域、職場における人権講座、学習会を開催します。 ・幼児期から継続した人権同和教育を推進するため、保育所、幼稚園、小・中学校の保護者や保育者、教職員を対象とした研修会や講座の開催を推進します。	
						実績値	11,033	10,135	10,989	11,078	順調					順調
8	113	人権尊重社会	隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	評価	5,242	5,256	5,271	5,285	広く市民に情報提供することにより、目標とする成果は得られた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	各隣保館で開催している講座等を、それぞれ身近な地域の実態やニーズに合わせた内容を取り入れ引き続き実施する。	達成見込み	・市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権同和教育講座、イベントなどあらゆる場での啓発を推進します。	
						実績値	6,025	6,073	5,711	5,987	順調					順調

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	目安値	19.5	21.0	22.2	23.6	各課へ女性委員の登用に努めるよう推進しているが、女性委員の登用率は伸び悩んでいる。計画期間内の登用率は増加傾向にあるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	女性の意見を方針決定過程に生かすため、意識改革に努めているが、成果はすぐに表れるものではなく、目標値に近づくように機会あるごとに各課の協力を呼びかけるとともに、一般公募の中に率先して手を挙げ活躍していけるような、女性の人材育成を図る。		各分野における方針決定過程への女性の参画を拡大するため、各種審議会、委員会などへの女性の登用を推進します。	
							実績値	19.7	20.5	22.6	22.5					
							評価	順調	概ね順調	順調	概ね順調					
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	目安値	0.35	0.34	0.34	0.33	教育委員会設置の不登校等対策連絡協議会による不登校対策提言(H25)、事例集(H26・27)の発信、学校の不登校担当者を集めた担当者会議を年3回開催(H26より)するなど教職員のスキルアップや情報共有の場の創出した。また、各学校では、担任一人で悩みを抱えず学校がチームとして動く事で早期対応に努めているが、目安値に達していない。計画最終年度の目標の達成についても難しいと見込まれる。	学校や庁内関係部署、関係機関との連携を密にし、児童の家庭環境の大きな変化をいち早くつかみ、適切な対応をしていく。		いじめや不登校などについて気軽に相談できる体制整備を図るとともに、中間教室などによる指導体制の強化に努めます。	
							実績値	0.51	0.60	0.44	0.56					
							評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている					
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	目安値	3.14	3.04	2.94	2.84	関係機関との連携をより深める努力をしたところ、不登校生徒の数は減少した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれるが、今後も継続した対応が必要である。	日々の欠席状況の把握や生徒との教育相談の機会を定期的に設けることなどに重点を置き、不登校状況を未然に防ぐための努力をしていく。	達成見込み		
							実績値	3.35	3.46	2.31	2.07					
							評価	遅れている	遅れている	順調	順調					
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	目安値	34	35	37	38	平成25年度に償還方法が選択できるように運用を変更し、利用者数の増に努めた。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	平成27年度に条例等の一部改正を行い、平成29年度の新規償還者から一定の要件を満たした場合に償還金の一部免除を行う。	達成見込み	地域産業を担う人材の育成のため、佐久市奨学金制度において償還金の一部免除を実施します。	
							実績値	21	49	72	81					
							評価	遅れている	順調	順調	順調					

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	目安値	183,311	183,483	183,656	183,828	児童数は減少傾向にあり、平成27年度には児童数が0になってしまった区が2区あるなど、子どもの育成会活動への参加延べ人数は減少傾向となっている。単独で育成会活動が困難である区については、隣接区等と合同で活動するなどの工夫も行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	育成会活動や地域体験活動を更に推進するためには、各地域での育成推進員の資質向上に努めるとともに、更なる育成会活動の取組に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等による支援を推進する。		・地域の特性を生かした地区育成会活動を促進するとともに、各種イベントの周知を図ります。 ・子どもの数が減少する中、地区を越えたチームづくりによるスポーツ活動の実施を促すなど、開催方法を工夫し活動の充実を促進します。
実績値	167,007	146,429	177,141	176,720											
評価	遅れている	遅れている	遅れている	遅れている											
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	目安値	31,515	31,636	31,758	31,879	佐久市文化事業団・中央公民館等で前年度より15件多い新規イベントを開催したことなどから目標値を大きく上回った。引き続き各所管課と連携し、事業の開催と情報発信を行っており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	生涯学習の機会に関わる情報の提供は、手法、場所等について工夫を重ねて行く。	達成見込み	市民の生涯学習活動を促進するため、より効率的な生涯学習関連情報の発信に努めます。
実績値			29,371	37,380	28,834	37,222									
評価			遅れている	順調	遅れている	順調									
15	131	生涯学習	公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	目安値	37,285	37,464	37,642	37,821	新規講座にも取り組んでいるものの、効果的なPR不足もあり、参加者の増加には繋げることができなかった。年々参加者が減少傾向にあり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	講座参加者へのアンケート調査を実施することで市民ニーズの把握に努め、魅力ある講座を企画するとともに効果的なPRを実施する。		市民ニーズの把握に努め、多彩な講座を開催するとともに、男性や若年層も参加しやすい新規講座の開催を検討します。
実績値			33,978	25,733	28,898	27,557									
評価			遅れている	遅れている	遅れている	遅れている									
16			図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	目安値	545,521	559,141	572,760	586,380	平成26年7月の読書通帳の導入による市民の継続した読書活動の促進を行うとともに、平成27年11月からはインターネット予約も開始し、本を借りやすい環境づくりに努めた。これらによりいったん減少した貸出冊数は増加に転じているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	多様化する市民ニーズに対応した図書資料収集のため、適切な選書を行う。 また、市民の読書活動推進と、図書館通いの習慣化のためのきっかけづくりとなるようなサービスを、今後もさらに工夫し、実施していく。		多様化する市民ニーズに対応した図書資料やサービスの充実を努めます。
実績値			583,206	534,284	573,643	573,891									
評価			順調	遅れている	順調	概ね順調									

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
17			スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	目安値	4,380	4,535	4,690	4,845	評価はやや遅れているとなったが、教室数を増やしたり、教室内容を見直す等により、目標値の達成が見込めるところまで来ている。今後も予定されている教室の周知等をすすめることにより、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	今後も市民ニーズにあった教室の開催により、より市民が参加しやすい教室の開催を推進する。	達成見込み		
							実績値	4,328	3,046	3,448	4,714					
18	132	スポーツ	スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	評価	概ね順調	遅れている	遅れている	やや遅れている	大会の運営方法等工夫を重ねながら実施したことにより、増加傾向となっているが、評価は遅れている。今後大きな伸びは期待できないため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	大会の参加資格や対象年齢、大会運営方法等について検討し、参加者が増える大会となるようにする。			
							目安値	16,230	16,547	16,865	17,182					
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	実績値	635,910	686,948	680,040	740,511	佐久総合運動公園マレットゴルフ場で年間券を新設するなど、利用者ニーズに則した改善が、延べ利用者数の増加に繋がった。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	利用率の向上と利用者数の増加を図るため、体育施設の概要や予約状況などの情報提供に努めるとともに、施設の長寿命化計画を策定する中で、計画的な施設整備を実施していく。	達成見込み	利用率の向上と利用者数の増加を図るため、体育施設の概要や予約状況などの情報提供に努めます。	
							評価	やや遅れている	順調	順調	順調					

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
65			自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	評価	232	234	235	237	地域の防災意識の高まりで多くの自治会で組織形成されたが、様々な事情により組織形成をしていない自治会もあり目安値には達しなかった。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	自治会の役員などに、組織を形成することの大切さを、出前講座や、合同訓練などを実施しながら呼びかけて行く。		自主防災組織の育成による地域ぐるみの防災体制の確立を促進します。	
66	611	防災	地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	評価	162	181	201	220	東日本大震災後、市で作製したハザードマップを全戸配布するなど、防災意識の高揚に努めたところ、訓練実施区数は増加傾向にある。しかしながら、訓練内容がワンパターンであるといったことから継続した訓練実施が行われないなどの課題もあり、目安値には達していない。増加傾向にあるものの遅れており、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	訓練の大切さや、必要性を理解してもらえよう、関係機関などと協議し、広域的な訓練も視野に入れ実施できるよう検討する。		実践的な総合防災訓練や、ひとり暮らし高齢者の対応など地域の実情に応じた自主防災組織による防災訓練の実施を推進します。	
67			消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	評価	66	74	83	91	消防団協力事業所に対する県税の優遇制度・市の入札優遇制度の効果や災害時における消防団活動の重要性が広く理解されたことにより、既に目標値の達成が図られている。	目標値には達してはいるが、今後も消防団協力事業所の募集について、引き続き呼び掛けを行っていく。	達成	消防団員がより活動できる環境を整備するため、消防団協力事業所制度を推進するとともに、消防団応援事業所制度により消防団員を支援します。	
68	612	消防・救急	火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	評価	54	47	39	32	火災予防のビラ配布、一人暮らし老人への火災予防週間、気象乾燥時の野焼注意の広報等の予防消防活動により、住民の火災に対する注意が高まったことが発生件数の減少につながったと考えられる。発生件数の減少に努めるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	今後も防火訓練や広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図る。		・事業所などの防火管理や危険物管理体制の充実を促進します。 ・防火訓練や広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図ります。 ・火災予防のため、啓発活動を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置を促進します。	
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	評価	11,554	12,665	13,777	14,888	市内幼稚園、保育園、小中学校及び各地区老人クラブに安全教室開催の要請を行った結果、2年連続の参加者増となった。しかしながら目安値には達しておらず、大幅な増加は困難なため、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	老人クラブ等と連携した交通安全教室の開催、高齢者宅への家庭訪問等効果的な啓発活動を推進し、交通安全意識の向上を図る。		高齢者対象のナイトスクールや老人クラブと連携した交通安全教室の開催、高齢者宅への家庭訪問などにより、交通安全意識の啓発に努めます。	

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22] (852)	835 (660)	目安値 実績値 評価	1,030 (814) 872 (686) 順調	981 (775) 933 (717) 順調	933 (737) 738 (573) 順調	884 (698) 710 (524) 順調	振り込み詐欺等の特殊詐欺事件は増加傾向にあるが、刑法犯全体では減少傾向にあり目標を達成している。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	夜間の犯罪防止のための防犯灯設置をはじめ、地域と行政が一体となった防犯体制及び活動の更なる充実を図る。また、特殊詐欺事件対策として、警察、防犯協会等と連携し、被害防止を図ります。	達成見込み	「防犯」全般	
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	目安値 実績値 評価	40 26 遅れている	45 31 遅れている	50 37 遅れている	55 33 遅れている	老人クラブなどの団体に消費者被害防止講習会の開催の要請を行ったが、必要性の周知や広報不足から例年並みの開催数に留まり、大幅に増加させることができなかった。他のイベント時に合わせた消費者被害防止の啓発を行うなど開催方法の検討を進めるが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	老人クラブを始め多くの団体等に消費者被害防止講習会の開催要請を行い、消費生活のトラブルに関する知識の普及や意識の高揚を図る。		消費者被害防止のための高齢者講習などにより、消費生活のトラブルに関する知識の普及、消費生活に関する意識の高揚を図ります。	
72			佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	目安値 実績値 評価	60 97 順調	120 120 順調	180 139 概ね順調	240 163 遅れている	広報活動を行ったため、登録団体数は増加したが、年間に登録する団体数は横這いであり、目安値には達していない。今後も広くPRし、登録の推進を図るが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	ホームページ、フェイスブック、機関紙等を活用して広くPRし、新しく立ち上げる団体の登録を推進する。		佐久市市民活動サポートセンターを拠点とした市民活動ネットワークの拡大を図るとともに、若者世代の参加と活動の充実を促進します。	
73	621	協働のまちづくり	佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	目安値 実績値 評価	2 6 順調	4 1 やや遅れている	6 13 順調	8 16 順調	平成26年度に交付対象経費が20万円以上の高額補助枠と、20万円以下の少額補助枠を設け、市民が利用しやすいように見直しを行ったところ、引き続き活動団体が増加した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	より多くの団体を支援するため、まちづくり活動支援金事業の積極的なPRを行う。	達成見込み	佐久市まちづくり活動支援金の活用を促進するとともに、市民活動団体が行うまちづくり活動を積極的に支援します。	
74			各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	目安値 実績値 評価	5 5.4 順調	6 5.4 概ね順調	7 5.6 やや遅れている	9 9.3 順調	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっており、公募委員割合は上がっている。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	各種審議会の市民公募委員枠の拡大を図るとともに、審議会の日程等をホームページやSNSを活用し、市民へ情報提供を行い市政参加を促進する。	達成見込み	・市民自らが参加し、意見を述べる機会を増やすことで、市民の市政参加を促進します。 ・各種審議会の市民公募委員枠の拡大を図るとともに、審議会の日程や会議録などの情報提供を推進します。	

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移								結果の分析	今後の方針	備考	第二次基本計画 前期の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	評価	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度					
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	目安値 実績値 評価	88 86.77 遅れている	89 86.30 遅れている	89 85.72 遅れている	90 84.62 遅れている	都市化の進展とともに、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にある。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	区への加入は本人の意思が優先されるため、コミュニティの維持強化の重要性の周知をすることにも、魅力あるコミュニティ活動を支援するため、引き続き区の活動費等に対して交付金を交付する。		地域コミュニティの基本である区の活動や適正規模、区の実情に合った区の体制づくりを支援します。	
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	目安値 実績値 評価	1 3 順調	1 1 順調	1 1 順調	1 3 順調	グループホームしおなだ、佐久南交流拠点施設、臼田健康活動センターの管理運営について、指定管理者制度の導入を実施した。実績値は順調に推移しており、計画最終年度の目標の達成が見込まれる。	指定管理者制度を適用させることにより、市民サービスの向上や経費の節減等が図れることから、積極的な制度の導入に向けた調整を行っていくとともに、より多くの民間事業者の参加を促すことができるような制度の見直しを進めていく。	達成見込み	・公共施設の管理運営方法については、民間活力の導入を引き続き推進します。 ・指定管理者制度について、広く民間のノウハウを活用するため、多くの事業者が参加できる方法や、インセンティブが働く仕組みづくりを検討します。	
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	目安値 実績値 評価	97.80 97.86 順調	98.30 98.26 概ね順調	98.90 98.38 概ね順調	99.45 98.53 やや遅れている	専任徴収員による戸別訪問徴収の実施や換価性の高い債権(給与、預貯金等)の重点的な差押の実施等行っており上昇傾向にはあるが、目安値には達していない。計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	税負担の公平性と自主財源確保のため、課税客体の的確な把握に努めるとともに、納税環境の整備を図り、納税者の納税意識の高揚と収納率のさらなる向上を図ります。		税負担の公平性と自主財源確保のため、課税客体の的確な把握に努めるとともに、納税環境の整備を図り、納税者の納税意識の高揚と収納率のさらなる向上を図ります。	
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	目安値 実績値 評価	5 31 順調	10 32 順調	15 32 順調	20 32 順調	圏域住民の生活の利便性の向上や圏域全体の活性化のため、佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき事業実施しているが、構成市町村との調整により、多くの事業を同ビジョンに盛り込むことができ、既に目標値の達成が図られている。	現在の佐久地域定住自立圏共生ビジョンが平成28年度までのため、平成29年度からの新たなビジョンの策定に向け、事業数の増加や事業内容の充実なども含め、既に構成市町村と調整に入っている。引き続き圏域の活性化と人口の確保に向け、取組を推進していく。	達成	・関係市町村との連携・協力により、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図ります。 ・佐久地域定住自立圏共生ビジョンに定める取組を検証することにより、人口減少などの社会情勢の変化に対し柔軟な対応を図ります。	